

1. 益田市行財政改革実施計画の進捗状況にかかる評価

資料 1

評点の説明

- ・ 5点 「目標以上の効果があった」
- ・ 4点 「目標どおりの効果があった」
- ・ 3点 「一定の効果があった」
- ・ 2点 「取組・効果が十分でない」
- ・ 1点 「計画スケジュールや目標数値などを見直す必要がある」

大項目	中項目	小項目	実施項目	総合評点(点)			益田市行財政改革審議会における指摘事項	
				H29	H30	前年度比		
I	効率的な組織体制の構築	1 職員の意識と能力の向上	ア 職員一人ひとりの能力向上	1	3	3	→	
			イ 人事評価制度等を活用した人材育成	2	2	2	→	・職員アンケートで職員の考え方を把握し、人材育成に反映すること。
		2 組織の見直し	ア 効果的な組織づくり	3	3	4	↑	・市民アンケートを早急に実施すること。
			イ 部局を超えた横断連携	4	4	5	↑	
II	持続可能な財政基盤の確立	1 財政の健全化	ア 歳入の確保	5	3	4	↑	・税・料等収納事務について研修するなど、今後の対応を徹底すること。 ・市民サービスの視点から、コンビニ収納導入に向け検討すること。 ・市有地売却を計画的に進めること。
			イ 歳出の抑制	6	2	3	↑	・第三セクターの見直しにかかる評価について、経営状況の確認回数以外で評価すること。
		2 総人件費の抑制	ア 総人件費の適切な管理	7	4	4	→	

大項目	中項目	小項目	実施項目	総合評点(点)			益田市行財政改革審議会における指摘事項			
				H29	H30	前年度比				
Ⅲ	市民ニーズに合わせた事業実施と施設管理	1	公共サービスの質的向上	ア	新たな公共サービスの提供	8	3	3	→	
		2	公共施設等の見直し	ア	公共施設の見直しと管理運営の効率化	9	2	2	→	<ul style="list-style-type: none"> ・評価が「2」のままとなっている要因を探り早急に実施すること。 ・早急な実施のためにシステム導入が必要であれば検討すること。
		3	事務事業の見直し	ア	事務事業評価サイクル確立	10	3	1	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・計画スケジュールを見直すこと。
Ⅳ	市民力をいかした協働のまちづくり	1	新しい自治体運営の取組	ア	地域住民が主体となった地域運営の仕組みづくり	11	3	2	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治組織の設立について、実態に応じて目標設定を見直すこと。
				イ	地域との協働と多様な民間活力の活用	12	3	3	→	
		2	開かれた市政の推進	ア	行政の見える化と情報公開	13	3	4	↑	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にとってわかりやすいホームページとなるよう工夫すること。

2. 第34回審議会における未報告事項について（実施項目6 歳出の抑制 第三セクターの経営状況の確認）

（株）ひきみの決算状況 当期純損失 12,027,319円